PFAS汚染の現状と対策
～兵庫県の事例を基に検証～

兵庫県議会議員　丸尾　牧（緑の党グリーンズジャパン）

兵庫県５万人以上都市 水道水PFAS状況（ng/L）

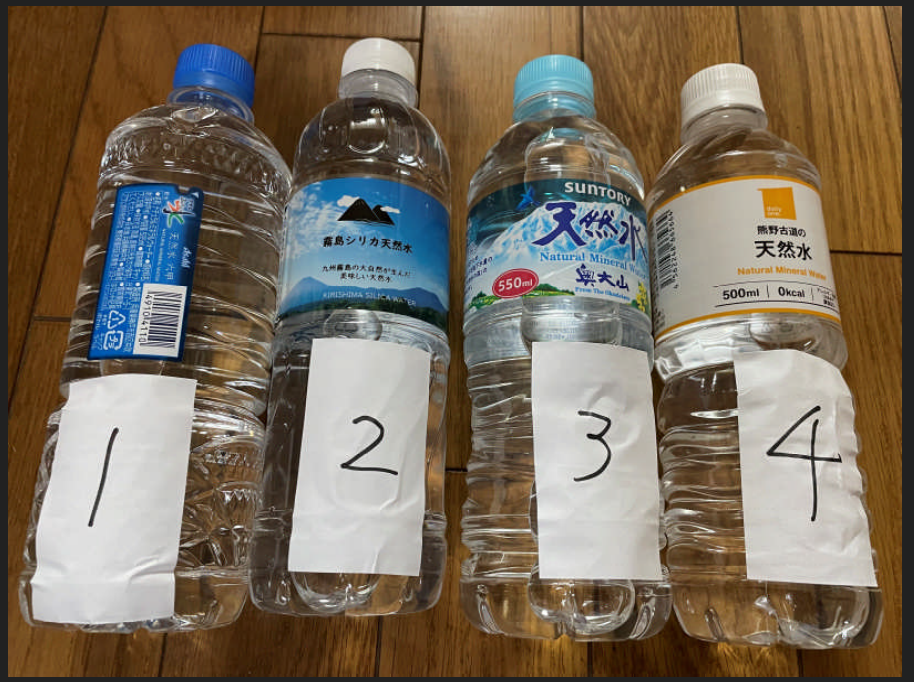
	2020（ng/L）	2021（ng/L）	2022（ng/L）	2023（ng/L）	2024（ng/L）
神戸市	〈５～１４	〈５～１３	〈５～１６	〈５～１２	〈５～１１
尼崎市	〈５～１９	〈５～１５	〈５～１０	〈５～７	〈５～１１
明石市	５～４８	〈５～３８	〈５～１９	〈５～２３	７～４４
宝塚市	〈５～５４	〈５～４４	〈５～４８	〈５～３８	〈５～３４
西脇市		〈５～１００	１０～２８	〈５～３２	〈５～３８
兵庫県水	〈５	〈５	〈５	〈５	〈５
阪神水道	〈５～１３	〈５～４０	〈５～１２	〈５～７	〈５～８

２０２４年度　県内地下水PFAS汚染状況

	PFOS	PFOA	合計値
伊丹市御願塚	３４	５３	８７
伊丹市南町	２４	３７	６１
西宮市津門西口町	２３０	２６	２６０
西宮市二見町	９６	２６	１２０
神戸市灘区岸地通	９６	１６	１１０
尼崎市東塚口町	１５０	４１	１９０
神戸市長田区二葉町	３０	３８	６８

ミネラルウォーターから目標値を超えるPFAS

- 神戸市　２０２２年１２月、厚生労働省から情報提供神戸市は２３年１月と６月に水質を検査。
- 商品のペットボトルからは最高100ng /L
- 原水となる地下水からは最高310ng/Lが検出された。



2023年7月8月、2025年7月8月実施

明石、尼崎、宝塚市民血液検査結果

	平均年齢	PFOS (ng/ml)	PFOA (ng/ml)	４種合計 (ng/ml)	米国基準超過	ドイツ基準超過
多摩地区 803人		１０．２	３．６	２１．９	４５．７%	
大阪 1187人		６．８	５．９	１７．０	３０．４%	
宝塚市 19人	69.3歳	８．１	４．３	１７．６	３６．８%	５．２%
明石市 42人	55.6歳	７．５	１１．５	２３．６	４５．２%	５４．８%
尼崎市 23年１０人	55.3歳	６．３	５	１５	２０%	１０%
2022年 環境省89人	44.7歳	３．４	２	７．５６		

宝塚市水道水　取水する井戸水のPFAS濃度

	小浜	小浜３	川面	小浜１	小浜３	小浜５	川面１	川面２	川面３	川面４
23年3月	３０	５	１５	７４	７０	５０	２０	５３	５３	３１
24年11月	２７	５未満	２３	停止	停止	４２	１９	７１	５３	２９
25年6月	２１	１１	１３	停止	停止	３０	１５	７５	４７	２４
24年水量	97.3万	9.2万	22万	9万	11万	85万	60.5万	61.3万	39.9万	56.5万
丸尾提言	要監視	継続	継続	停止	停止	停止検討	継続	即停止	即停止	要監視

汚染源を探す

全国ではPFAS汚染源　ほとんど見つからず

- 全国111カ所で河川等の水質が暫定指針値をオーバー
- そのうち９８％が汚染源がわからず
- 環境省発表

明石川PFAS神戸市調査 最大値 PFOS＋PFOA合計(ng/L)

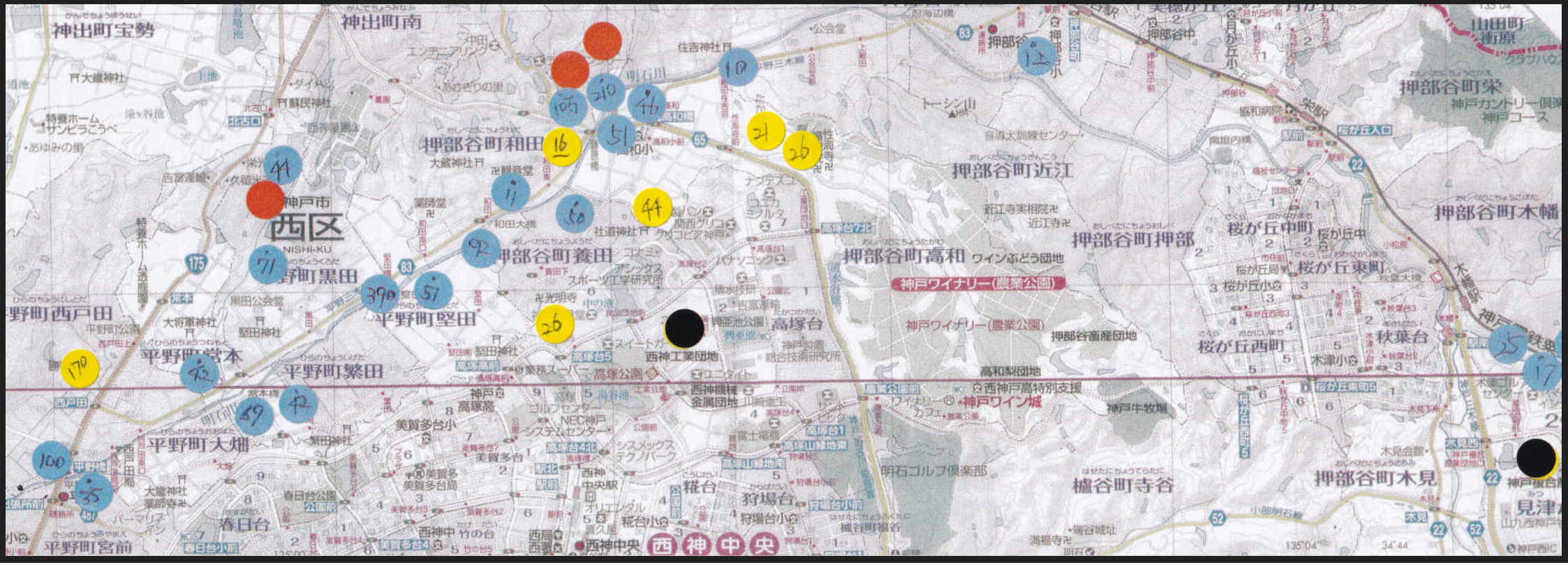
2021	2022	2023	2024	2025	暫定指針値
～４９０	～４１０	～１３００	～２９００	～１８００	５０

2023年10月河川水質調査スタート

明石川水質検査結果

- 調査個所　明石川　橋、支流　３８カ所調査
- 暫定指針値超２０カ所
- ４０ng/Lを超える支流１０カ所　複数の汚染源

汚染源２カ所発見！他の1カ所も



産業廃棄物処分場からの排水

明石川水質検査結果　単位　ng/L　2023年10月

	PFOA	PFOS		PFOA	PFOS
産廃排水安定型	１００００００	１５０	産廃管理型２下流	７１	〈５
産廃排水管理型１	１９０	２４	西神工業団地近く支流	１９	３１
藤原橋	４１	１０	神戸複合産業団地排水	１７	0
和田大橋	９２	〈５	上藤原橋	４６	〈５
堅田橋	３９０	〈５	中津橋	２３０	7

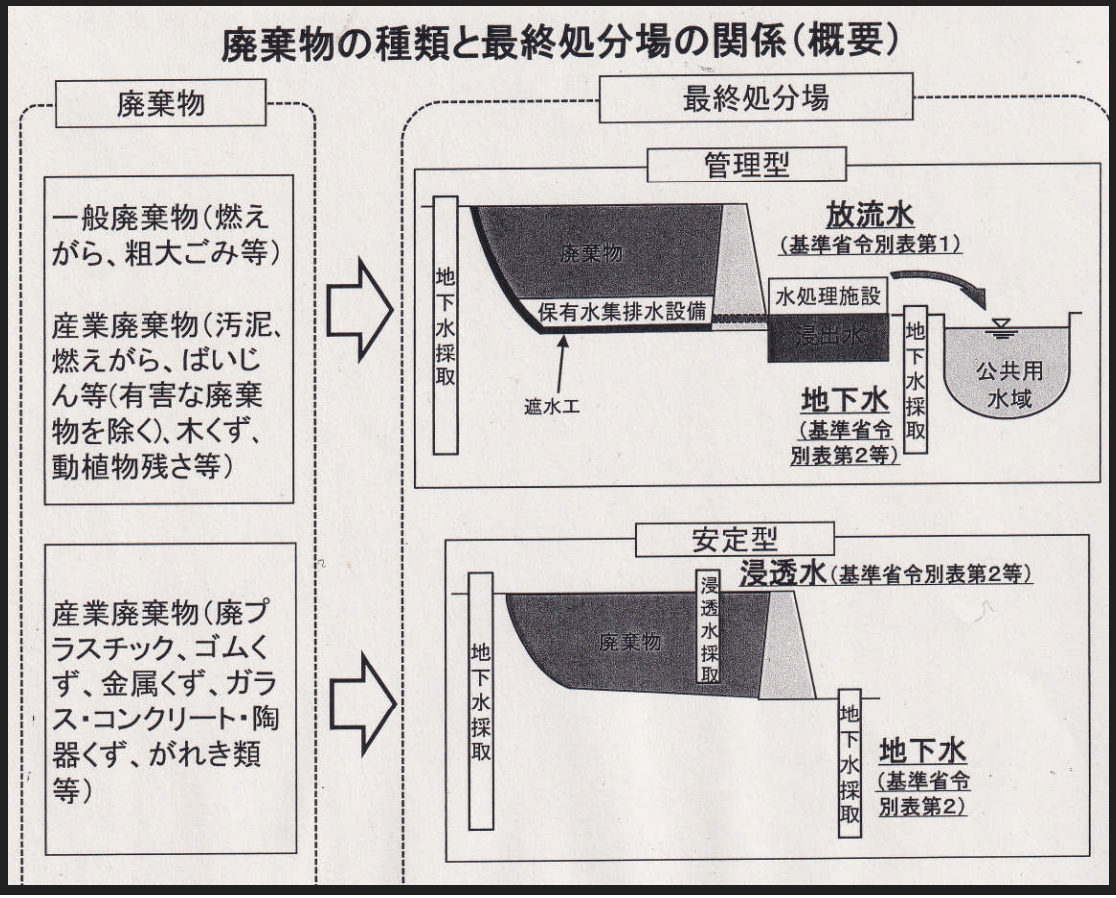
明石川のPFASはほとんどPFOA（ng/L）

	PFOA	PFOS
押部谷町高和①	１０万	１５００
押部谷町高和②	２１０	２４
中津橋	２３０	7
野々池貯水池近く	３７０	5
平野町中津　地下水	１３０	6

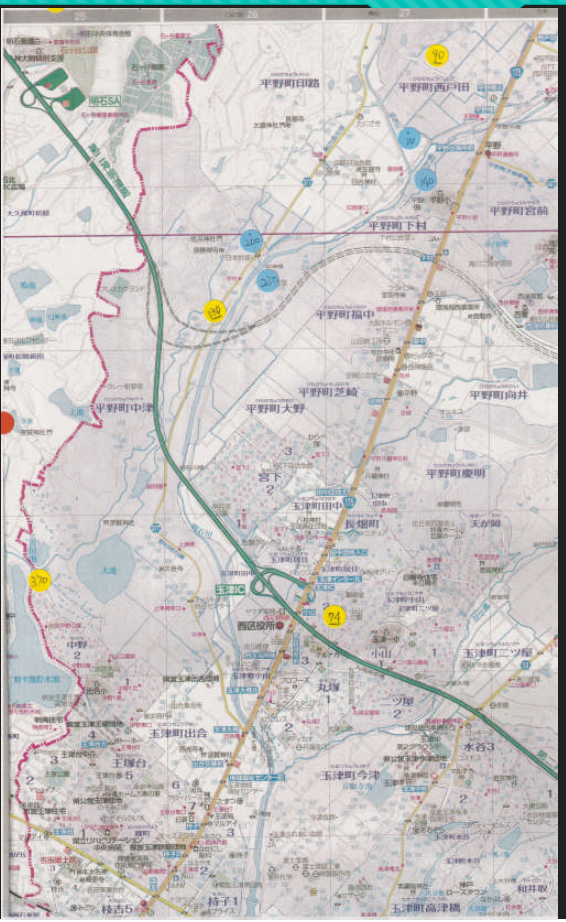
ＰＦＡＳ組成　単位ng/L　直鎖型のみの濃度　2024年5月

	ＰＦＨｘＡ	ＰＦＯＡ	ＰＦＮＡ	ＰＦＤＡ
産廃管理型排水	６２２．２	７０６８．３	９６．６	２２７．６
産廃安定型排水	１０１．４	２２３４．０	１１．０	１８．９

管理型処分場　水処理施設あり



周辺地下水３カ所暫定指針値超える



井戸水 PFAS濃度 ng/L	産廃処分場 近く農地 ５００ｍ	平野町 西戸田 農地井戸 約４ｋｍ	平野町 中津 民家井戸 約９ｋｍ	玉津町 小山 民家井戸 約１０．５ ｋｍ	明石市 人丸町 神社井戸 亀の水 約１５ｋｍ
PFOA	１６	９０	１３０	４１	３９
PFOS	〈５	〈５	6	３３	〈５

明石の海のPFAS汚染

2024年4月1日調査

	望海浜 明石川 出口	大蔵海岸	林崎松江 海岸
PFOA	４４	１１	２４
PFOS	5	1	1

自治体で出来る取り組み

ＰＦＡＳ管理目標値（ng/L）　2026年4月

自治体名	数値	自治体名	数値
神戸市	１０	姫路市	なし
明石市	４０	川西市	なし
宝塚市	なし暫定値40	加古川市	なし
西宮市	25要監視強化、35井戸水停止	高砂市	なし
尼崎市	２０	西脇市	５０
県水	３５検討	阪神水道企業団	２０

要検討項目ＰＦＡＳ検査実施方針　2026年4月

自治体名	要検討項目検査	公表方法	5ng/L未満公表
神戸市	実施	分離	×
西宮市	実施	分離	×
尼崎市	PFHxSのみ	2PFAS合計＋１	×
宝塚市	実施	２合計と８合計	×
明石市	PFHxSのみ	分離	○
阪神水道企業団	実施	２合計と８合計	×
県水	PFHxSのみ	2PFAS合計＋１	×

河川等要調査８項目ＰＦＡＳ検査実施方針
2026年6月

自治体名	要調査項目検査	公表方法
兵庫県	実施	分離
神戸市	未実施	

兵庫県取り組み現状　令和９年度 国の予算編成等に対する提案（2026年8月）

- 水質汚濁に係る人の健康の保護に関する要監視項目であるPFOS及びPFOAを含めた有機フッ素化合物（PFAS）の毒性及び健康影響について、更なる科学的知見を充実するとともに、速やかに情報提供すること
- 特にPFOS及びPFOAについては、県内河川及び地下水で暫定指針値を超過している地点が複数確認されており、汚染除去等の対策について具体的な方法を示すこと
- 「PFOS・PFOAに係る水質の目標値等の専門家会議」での検討を進め、環境基準値を早期に設定すること

兵庫県取り組み課題　公害問題として対応

- 明石市、宝塚市、神戸市と連携し疫学調査を行う
- 独自のPFAS独自環境目標値の設定
- 政府に工場、産廃処分場排水基準の設定を求める
- 土壌汚染等対策のための国の支援策を求める
- 兵庫県が許可した産廃処分場排水のPFAS検査を行う
- 産廃処分場、工業団地、空港、基地等の排水が流れ込む河川の水質データ検査を行う
- 元々の汚染源排出者を特定し対策費用を出させる

神戸市の取り組み現状2024年

- 明石川PFAS水質検査を１７カ所（倍増）に増やす
- 産廃処分場業者からPFAS排水データを入手（非公表）
  （汚染源の可能性があることは認識）
- 西区内事業所にPFAS対策を取るよう要請(毎月検査)
- 政府にPFAS対策申し入れ

神戸市　産廃処分場事業者に要請（2023年11月）

- 最終処分場から排出している放流水中のPFOA、PFOSについて、濃度測定実施
- 可能な限り毎月測定（了解なく公表しない）
- PFOA、PFOS濃度の削減に向けた対応
- 例　排水処理対策（活性炭等による排水処理の実施、活性炭交換頻度の増等）　PFOA、PFOSが含まれている可能性が高い産業廃棄物の受入停止

神戸市　水質汚濁防止法特定事業者等へ要請

- 対象　水質汚濁防止法特定施設　写真感光材料製造業　感光剤洗浄施設、化学繊維製造業など
- PFOS、PFOAが含まれる薬剤等の保有・使用状況確認
- 漏洩状況の確認　漏洩防止措置の実施
- 排出水に含まれるPFOS、PFOA濃度測定　年4回目途

神戸市
令和６年度国家予算編成に対する重点要望

- 有機フッ素化合物について、人に対する毒性評価や農作物による吸収等についての調査研究を早急に進め、その発生メカニズムを解明し、全国一律の水質等の基準値を設定すること
- PFOSやPFOA以外の有機フッ素化合物についても、人に対する毒性評価等を進め、規制対象にすべき物質を早急に選定すると共に、適切な分析方法を提示すること
- 公共用水域等のモニタリングに対する財政支援を行うと共に、除去技術を確立すること

神戸市取り組み課題（汚染源のある自治体）

- 産廃処分場内汚染源を見つけ出し撤去（土壌調査をすればわかる）
- 環境省などに汚染源対策費用の支援を要請
- 産廃処分場からの排水データを調査、公表すること
- 河川水質検査による汚染源調査の継続、地下水水質調査実施
- 農産物、海産物のPFASチェック
- 農地の土壌汚染対策の実施
- 住民の血液検査、疫学調査実施

2026年11月 100名超の地方議員で政府に申し入れ予定

- PFAS耐容一日摂取量について、欧米の最新調査結果等を踏まえ、大幅に強化すること。
- 水道水の水質基準を50ng/Lではなく、より厳格な基準を設定すること。
- 河川、井戸水などのPFAS環境基準を早急に設定すること。
- 工場、産廃処分場などのPFAS排水基準を設定すること。
- 企業等がＰＦＡＳを含む汚染物質を環境中に排出又は漏出させた場合、原因者に負担させる「汚染者負担の原則」を明確にした法制度を整備すること。

環境基準を設定するために

政府に直接働きかける。各政党に働きかける

自治体から国へ環境基準の設定を求めるよう働きかける。（一部自治体）

地方議会から国へ環境基準の設定を求める意見を出してもらうよう働きかける。

国が環境基準を設定するよう地方議員に各議会で質問してもらうよう働きかける。

子どもたちのために
一緒に声を上げていきましょう。